

第2回石川県能登地域公共交通協議会 議事概要

日 時：令和6年12月24日（火）14：00～

場 所：のと里山空港 42・43 会議室

出席者：別紙のとおり

1 開会

（高橋企画振興部長）

本日は年末のお忙しい中、また雪道の中、お集まりいただき感謝申し上げます。能登半島地震から丸一年が経過しようとしている。これまで震災からの一日も早い復旧復興を目指し、関係各位のご尽力により順次、公共交通の運行が再開された。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。一方、9月の奥能登豪雨でさらなる被害がもたらされ、現在も路線バスの一部区間で運行再開の目途が経っていない。今後、能登の本格的な復興のためには、持続可能な地域公共交通の再構築が必要であり、本協議会の議論が重要と考える。

本日は前回の協議会でいただいた意見を踏まえ、利用者目線に立った持続可能な公共交通の再構築に向け第一次計画をご提示する。各委員には持続可能な公共交通の確保に向け、様々な視点から忌憚ない意見をいただきたい。

2 会長挨拶

（高山会長）

本日は雪が降ってきて、冬本番と感じている。天候の悪い冬においては、交通弱者にとって地域公共交通は一層重要な生活の足である。企画振興部長の挨拶にもあったが、能登半島地震があり、豪雨があり、一部路線は運休しているところもある。以前の形での路線バス、コミュニティバスが持続的に運行できるかが課題である。また、能登の復興には来街者、観光客も来てもらわないといけない。観光客にとっては雪の中、レンタカーを運転することは不安でもあるし、来ていただけないと冬の味覚を堪能できない。そうした中、公共交通を整備することは能登の復興に必要不可欠である。

本日は現状と一次計画について事務局から説明いただき、意見交換に入りたい。本日もよろしくをお願いします。

3 議事等

（1）石川県能登地域公共交通計画の概要について・・・資料1

（2）能登方面特急バス及び町野線について・・・・・・資料2

4 意見交換

（七尾市：脇田委員）

先ほど能登地域の公共交通計画案の概要において、具体的には第一次計画で広域基幹交通の維持確保、第二次計画で地域公共交通の再構築を検討することが示された。これについて、1点目として非常に分かりやすい、2点目としては災害公営住宅の建設本格化など復興フェーズに合わせた対応が非常に実情に合っていると思う。また、付け加えて、七尾線、のと鉄道を広域基幹交通と位置づけ、維持確保することが示されており、七尾市の地域公共交通計画の考え方とも整合が図れており、異論はない。

（輪島市：浅野委員代理）

今回の計画案については将来持続可能な公共交通実現に向けて、概ねその意にかなったものであると考えている。本市においては、現在、地域公共交通の再編を行っているところであり、将来的にはエリア一帯となった地域公共交通サービスを提供していくことが必要になってくるかと思っている。そうした中、輪島市で行っているサービスと近隣市町で提供しているサービスに大きな差が出てくると、利用者が戸惑うということが懸念される。スケールメリットを活かしつつ、利用者が混乱しないようにしないといけないと思う。

（珠洲市：金田委員）

計画については、提示いただいた内容で進んで頂ければと思うが、この計画をどうコントロールしていくかが重要と考える。今後、復旧から復興にフェーズが変わり、様々なことが想定される中で、市町の担当者、交通事業者と定期的な打ち合わせを行ってほしい。市町の被災、復旧状況に濃淡があるので、適宜状況を把握していただき、進捗管理してほしい。

特急バスの関係だが、現状のと里山空港での乗り換え便が5往復から4往復に減便ということについてはやむなしとも思っているが、夏場の飲食や宿泊が復活したときの選択肢を持っておきたい。夏場やハイシーズン限定で増便等ができるよう関係者で調整していただき、積極的に復興を後押ししてほしい。

（羽咋市：川口委員）

公共交通の持続可能性を図ることと復旧復興を後押しすることは納得できるが、それだけではなく、インバウンドを含め、人を呼び込む施策を反映してほしいと感じた。

基本方針3で観光列車など、観光面の施策が記載されているが少し物足りないと感じている。羽咋市では12月議会でJR七尾線にサイクルトレインを呼びかけてはどうかとの提案もあった。のと鉄道の計画には含まれているようであるが、賑わいづくりの視点を踏まえた提案があっても良い。

（志賀町：庄田委員）

本町に鉄道がないことから、一次計画については直接的に関連する事項は少ないこともあり、異論はない。二次計画のほうが重要と考えており、本町では来年4月からAIデマンドバスの運行を目指して調整している。

そのような中、町内の移動についてはAIデマンドバスなどで対応し、小中学生の通学はスクールバスをうまく活用することで調整している。一方、高校生の通学をはじめ広域的な移動については、AIデマンドバスだけでは対応できず、路線バスとの調整など様々な課題があると思う。その中でAIデマンドバスは羽咋市と同じ事業者であり、羽咋市と連携した広域運行も考えられる。その点から第二次計画の考え方と整合が図られるものと考えている。引き続き、関係各位からのご意見、お知恵をいただきたい。

（宝達志水町：松榮委員）

今回の計画をもとにして具体的な数値目標や事業計画を作成して地域公共交通の底上げにつながるのかなと思う。そのあたりで、計画P51にKPIが示されているが、利用者数がプラスになる

ということの詳細がわかりかねるということと財政負担が毎年変わらないことは大丈夫なのかと少し心配である。この点については毎年議論していければよいのかと思う。

来年度に第二次計画として各地区との連携強化という観点で期待をしている。

（中能登町：横井委員）

計画に異論はない。将来像における「利用者目線」「持続可能な地域公共交通」という視点を踏まえ、若者、高齢者や観光客も含めてうまく連携が出来れば良い。現実的には厳しい課題もあると思われる。みなさんと問題点を1つ1つ潰していければと考えている。

（穴水町・宮崎委員）

穴水町では被災した穴水駅及び周辺の再整備を復興プランの目玉施策として考えており、のと鉄道の再構築事業をはじめ、のと鉄道の持続可能性の確保は穴水町としても極めて重要であると認識している。引き続き、ご協力いただきたい。

第二次計画では、穴水町では高齢者向け外出支援バスなどを実施しているが、町単独ではAI デマンドバス等の導入も難しく、広域的なデマンドシステムが実装できればスケールメリットも働くと考えている。引き続き、第二次計画で検討いただきたいと思う。

（能登町：大倉委員）

広域デマンドは夢のある話ではあるが、各市町の制度や料金体系、事業者の方針など多方面に調整すべき項目がある。本町の高校生は少ない状況ではあるが、不便の少ない交通を達成できればと考えている。

（石川県高等学校 PTA 連合会・吹上委員）

珠洲市において、仮設住宅周辺に仮の停車場を沢山設置していただいき感謝申し上げる。来春からの能登方面の特急バスについて、減便等の状況は理解できるが、大学等の進学に際し、春先に向けて子供だけの移動機会があり、のと里山空港での乗り換えが大変である。高齢者で病院のためにのと里山空港での乗り換えのタイミングに不安を持っていることも事実である。シーズンや時間帯に工夫を持たせて直通便を検討できないか。また、鵜川経由の便は助かる面はある。

このような機会で発言はしているが、自分の学校でのヒアリングは限界がある。他市町でも利用者がいるなか、ホントの利用者の声はどうやって集めれば良いのか課題と感じている。今後も前向きに協力していきたいので、体制を構築していただければと思う。

（石川県高等学校 PTA 連合会・杉木委員）

自身の子どもの西岸駅から七尾東雲高校に通学している。JR からの乗り換えの待ち時間が1時間あり、保護者送迎に往復1時間の負担がある。もっと短い時間で乗り換えできれば良いと思う。その一方で多くの学生が利用する時間帯は2両編成にして頂き感謝している。

（輪島商工会議所女性会・澤田委員）

女性会で話をする中で、高齢者と子供の移動手段がない。のらんけバスを利用している人がほとんどいない。のらんけタクシーのように時間を合わせて移動できる仕組みがあると良い。

道路に関して、里山海道は復旧が進んできていると思うが、輪島から七尾間の一般道路の整備が遅く感じる。降雪期に入り、日没後の暗い時間帯に積雪の条件が加わると道路の状況がこれまで以上に把握できず、事故等が懸念される。

（JR 西日本・鹿野委員）

これまで連携等はさせていただいているが、基本的には交通事業者各社の考えで進めてきた。この度、能登地域全体の公共交通に対し、大きな方向性を示していただいたことは意義があり、感謝申し上げる。JR 七尾線の利用者はコロナ禍前に戻っていないことに加え、沿線人口も減少しており、ますます厳しい状況になることを懸念している。

そのような状況において、今回の計画の中で七尾線の役割と方向性が示されたことを踏まえ、持続性を高めるためどのようなアプローチが必要か、また議論させてほしい。先ほどサイクルトレインの話もあったが、誰をターゲットとして、どのようなボリューム感で捉えていくか等も踏まえ、ご相談したい。また、そのような施策を事業者単独で実施していくのは非常に困難な面もあり、県や沿線自治体との役割分担もご相談したい。今回示された案については社内で確認させて頂き、策定に向けた議論を進めさせて頂きたい。

（のと鉄道・中田委員）

鉄道再構築事業が認められることは弊社にとって追い風になり、のと鉄道が担う役割や使命感、ますます持続可能性を高めることにつながると考えられる。

弊社は今 17 往復の運行体制で地域間の移動利便性を確保することとしているが、その体制を維持するということでは観光振興にも寄与し、役割を果たしていきたい。

この実施計画を策定して、国、県、関係市町から支援をいただき、業務環境や運行管理を見直すなど、安定した経営のためのコスト意識を持って、小さな積み重ねを繰り返しながら改善をしていきたい。大事なことは利用者のニーズを把握してそれに応じたサービスを提供していくことである。先ほどご指摘いただいた JR 七尾線との接続についても JR 西日本と連携して取り組んでいきたい。その他にもバリアフリー化や運行情報のリアルタイム案内も進めたい。また、キャッシュレス化も含め多様なニーズへ対応していきたい。このような努力を重ねることで利用者を選ばれる交通サービスを提供していきたい。

厳しい経営環境であるが、地域の生活を支えるとともに地域の未来に希望をつなぐ役割を果たしたい。これは地域の基幹交通事業者としての覚悟だと思う。今後も利便性向上と効率化をはかり、持続可能な公共交通に向けて全力で取り組んでいきたい。

（北陸鉄道：高橋委員）

先ほど減便の暗い話をしてしまったが、深刻な運転士不足は続き、今後も高齢化が進むなど、厳しい状況にある。そのような中でも能登地域の復興を目指し、特急バスの維持を図ることは必要である。

能登で事業をしていく中で、生活交通の最低限のところは守っていかねばならない。特に学生の通学の足を限られた運転士の中でどうやって効率的に確保していくべきか課題感をもっており、厳しいことははっきりと申し上げながらも、定期的に関係者の方々と真剣に話をさせて頂きたい。

（能登島交通：星野委員代理）

能登島と和倉・七尾を結んでいるが、能登全体の中では小さい事業である。利用状況を考えて、当社の事業環境も他事業者と同様な課題を抱えている。

現在、能登島地域づくり協議会と連携して、島内の西側の路線を運休してデマンドバスを運行しており、来年1月10日まで実施する予定である。その中で利用者にアンケート調査を実施したところ外出の機会が創出されていないという結果であった。理由としては、外出目的が増えていないことが考えられる。公共交通の整備がされたとき、交流人口が増えるイベントをすると利用が増えるのではないかと。一方、日常利用においては目的となる活動が創出されないと外出機会の増加や利用者増加にはつながらない。来年度以降に地域づくり協議会とも連携して検討を進めていきたい。

（北陸信越運輸局：新倉委員）

事務局におかれては迅速に計画案をまとめていただき、また、各委員からもご意見いただき感謝申し上げます。同じ方向を向いて広域で取り組むことが重要であり、我々も支援していきたい。鉄道の関係でJR七尾線やのと鉄道での取組を盛り込んでいただいている。特に、のと鉄道では鉄道事業再構築ということで国の認定を受けて事業を進めるということであり、引き続き、調整させていただきたい。

今日は話題がでなかったが、広域基幹交通としての特急バスについても国・県・市町の協調支援がうたわれており、我々の補助で使えるものもあるかと思うので、事業者・県と一緒に議論させて頂きたい。1点付け加えさせていただくが、先ほど、珠洲市から発言があったように、この広域でまとめた計画の中身をしっかりとマネジメントしていくことが重要であり、広域マネジメントについて、関係者での議論に我々もしっかりコミットしながら進めていきたい。

（石川運輸支局・猿谷委員）

この一年で道路は良くなってきており、各自治体がそれに合わせて地域の交通を維持頂いていることに感謝申し上げます。また、本日、前向きな意見をいただき、広域的な取組についてはある程度、合意いただけたと感じている。本日、タクシー協会の委員は欠席であるが、これからタクシーも頑張っていく必要がある中、タクシーは厳しいところが多く支援が必要とも思っている。もしかすると新たな形態の検討も必要になると思う。

広域的な、ということでは、能登全体で取り組むべきこと、エリアを分けて取り組むことなど、それぞれで議論していくことが必要になるかと思う。特急バスが減便になることは残念であるが、潜在的な需要や利用促進策はあるように思う。各市町からも、ぜひご提案いただきたい。

（金沢河川国道：五十川委員）

日頃より道路行政等にご理解いただき感謝申し上げます。金沢河川国道事務所としては国道159、160、能越自動車道（穴水道路、輪島道路など）の整備・管理を行っているほか、能登半島地震以降、穴水IC以南ののと里山海道及び国道249号の権限代行を担当している。

本日も通りやすくなったとの話をいただいたが、大規模な被災場所ではまだ復旧事業を継続している。今後も道路環境の改善工事や雪の状況に応じた交通規制等でご不便をかけることもあるが、ご協力いただきたい。

(能登復興事務所：中村委員代理)

能登復興事務所では、能越自動車道のと三井インター～穴水インターにおける地震からの復旧・復興整備を進めている。現在、冬季の対策として線形や段差の改良を進めている。また、石川県が管理する国道 249 号の復旧・復興整備を権限代行で進めているが、今年中に外浦をつなげる工事を進めており、12/5 に大川浜工区の緊急車両等の 1 車線通行確保、12/20 に千枚田工区の一般交通の 2 車線通行確保し、12/27 には逢坂トンネル工区の緊急車両等の 1 車線通行確保を予定しており、整備を進めている。引き続き、復旧、復興整備に努めていきたい。

(県道路整備課：小寺委員)

本日の参考資料として通れるマップをつけている。元日の能登半島地震と 9 月の豪雨災害で通行止め箇所が多く発生した。バスルートや鉄道駅へのアクセス確保が重要との視点で、復旧を進めており、本日現在で通行止め箇所は 11 路線 23 カ所まで減っている。年内も 4 カ所の通行止め解消に向けて進めている。引き続き、創意工夫しながら対応していきたい。雪のシーズンが本格化する中、バス・クルマの安全確保に向けて除雪等に取り組んでいく。県外から多くの方が応援に来て頂いているが、冬用タイヤが間に合っていない方もいらっしゃる。冬用タイヤを着用いただきながら、安全円滑な交通に向けて対応していきたい。

(県警：伊藤委員代理)

能登半島地震発災以来、北陸地方整備局や県土木と連携して道路啓開、交通の安全対策等を進めてきた。

先程、未だに道路が危ないとのこと指摘もあったが、権限代行されている北陸地方整備局も夜通し対応しているので、そこはご理解頂きたい。昨日、積雪があったが、珠洲道路の合鹿、上棚矢駄などでは、今回の雪でもスタック車両が出た。上棚矢駄では、県外の大型車両のスタックで一次的に渋滞が発生した。

積雪時の予防的な通行止めについて、その際には国道 249 七尾湾沿いが唯一のアクセス道路となる。県警としては、国道 249 の穴水町内で主道路が円滑になるよう信号調整を行っている。穴水町民・中島市街地にお住まいの方の生活はご不便になると思うが、当面は冬場の代替道路ということでご理解いただきたい。

また、穴水副町長から、穴水駅前再整備の話も聞いたが、県警としては駅前再整備や新幹線開業に伴う駅前に対しては交通対策について相談させていただいている。具体的には加賀温泉駅前はラウンドアバウトを導入しているほか、IR の粟津駅前でも導入を検討している。被災地の公共交通の起点となる駅前の再整備にあたっては、事前に県警に相談頂きたい。

(高山会長)

本日は貴重な意見をいただき感謝申し上げます。金田副市長からは担当者が検討できる場があれば良いとの意見をいただいた。具体的に計画が動き出すと、PDCA を回すことが必要となる。地域ごとに定期的にワーキンググループを開催するなど、具体的に議論を進める体制を検討いただきたい。

もうひとつは特急バスについてである。ハイシーズン、オフシーズンで便数を変えることは合理的であると考え。その都度、届出を出すのではなく、手続きの簡略化が図れば良いと思うがいかがか。

(石川運輸支局・猿谷委員)

事業者も手続きには苦勞されていることは承知しており、前もっての事業計画の提出であれば良いと思う。効率化に向けて検討できればと思う。

(高山会長)

のと鉄道の再構築事業も重要だと思う。車両についてはこれまでに一度更新しているが、10 数年に一回は車両を更新していかないといけないと思う。県と地元と鉄道会社とで検討頂きたい。

また、二次計画の中で広域交通と地域内交通の両方について、来街者が能登の主要拠点まで来訪することは可能となるが、二次交通について、すべてがAI デマンドでは厳しく、全ての人がタクシーで回ることも難しい。来街者や観光客の目でも公共交通を考えてほしい。さらに、地元の高校生中学生の通学と高齢者の通院が重要である。自治体は大変かと思うが、今後はその辺りも含めて、最初は手厚くでも良いかもしれないと思う。少し先の話かと思うが、DX とか AI など、能登 MaaS のような能登一体で一元管理できれば利用者にとって非常に便利になると思う。

その他、意見が無いようなので進行を事務局にお返しする。

5. 閉会

本日は貴重な意見をいただき感謝申し上げます。今後、パブリックコメントを経て、計画を策定する予定である。今後もWGの仕組みを活用して検討していきたいと思う。引き続き、利用者の利便性という観点を重視して、関係者と調整してまいりたいのでご協力をお願いしたい。

以 上

